

家主・地主に役立つ

書籍情報

不動産投資や相続をはじめとする賃貸経営で知っておくとい知識は膨大です。家主・地主自身もより高度な専門知識を持ち、空室対策のために主体的に賃貸経営を行う時代。弁護士・税理士らの専門家の指南から、若手オーナーの成功談まで多彩な書籍が書店に並ぶ中、編集部が4冊をピックアップしました。

book 1

その他

建築学科のための不動産学基礎

建築学科出身の不動産専門家12人による共著。建築学と不動産学の融合を目指し、建築学科で学ぶ者に必要となる不動産学の基礎をまとめた。本書では、「建築と不動産の関係性の中で、建築の感性が養われることが大事」だと説明する。

著者：高橋寿太郎・須永則明・廣瀬武士・野々垣賢人・安藤美香・前田凌児・藤谷幹・佐竹雄太・山岸亮太・川原聡史・甲斐由紀・本山哲也

出版社：学芸出版社 価格：2420円（税込み）



book 2

その他

地主のための資産防衛術

著者は父親の急死により、同族グループ会社の代表として債務超過に陥っていた同社グループの経営を再建した11代目地主。8年間の壮絶な相続争いを解決した軌跡を実録として紹介。自身の経験を踏まえて、不動産会社・銀行・親族から資産を守るために必要な交渉、相続の方法を伝授する。

著者：芝田泰明 出版社：幻冬舎 価格：1430円（税込み）

book 3

その他

アフターコロナ時代の不動産の公式

著者は不動産市況アナリスト。アベノミクスによる不動産バブルとその崩壊の過程をはじめ、2020年から始まったコロナ禍による不動産市場の変化と今後の未来、日本社会の構造変化と不動産への影響など、豊富なデータを基に解説している。

著者：幸田昌則 出版社：日本経済新聞出版 価格：1760円（税込み）

